

令和 6 年 5 月 3 1 日
教 育 総 務 課

令和 6 年第 1 回区議会定例会及び予算特別委員会における質問について

1 . 議会日程

(1) 令和 6 年第 1 回区議会定例会

会 期： 令和 6 年 2 月 2 0 日 (火) ~ 3 月 2 7 日 (水)

代表質問 2 月 2 0 日 (火) ・ 2 1 日 (水)

一般質問 2 月 2 1 日 (水) ・ 2 2 日 (木)

(2) 令和 6 年予算特別委員会

審査日程： 令和 6 年 3 月 6 日 (水) ~ 3 月 2 1 日 (木)

総括質疑 3 月 6 日 (水)

文教委員会所管質疑 3 月 1 8 日 (月)

補充質疑 3 月 2 1 日 (木)

2 . 世田谷区のホームページにおける閲覧等

区議会本会議及び予算特別委員会における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

「会議録検索システム」における質問及び答弁については、予算特別委員会の分は 6 月上旬公開予定。

令和 6 年第 1 回区議会定例会における教育 (文教) 領域の主な質問・答弁の要旨については、別紙のとおり。

【別紙】

令和6年第1回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

<代 表>

敬称略

項 目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
医療的ケア 児の保護者 負担の軽減	自 民	石川 ナオミ	教育総合 センター長	人工呼吸器を使用する医療的ケア 児が保護者の付添いなく学校に通 えるよう、区は看護師を活用する対 応策を示した。円滑な実施に向け て学校現場を支援せよ。	ガイドラインを周知徹 底し実施体制の確立 に努める。
区独自の教員任用制度 の導入	公 明	福田 たえ美	教育長	区立校の教員不足が深刻であり、 担任が配置できない学級まである。 現状を打開するため、区独自の任 用制度の導入に踏み切れ。	6年度から区独自の正 規教員の任用制度を 検討する予定だ。
学校体育館 の冷房設備 の改善	公 明	福田 たえ美	教育政策・ 生涯学習 部長	猛暑日の増加に伴う学校での暑さ 対策は急務だが、体育館に設置さ れた冷房は効きが悪く効果が薄い。 児童生徒の安全を守るため、夏ま でに確実に改善せよ。	送風機の設置などを進 め、抜本的な対策も検 討する。
主体的な学 びを促す授 業改革	立憲れ	中山 みずほ	教育長	渋谷区では子どもの主体的な学び の実現に向け、全小中学校で午後 の時間を探究学習に充てるなど、授 業の見直しが進んでいる。区も積極 的に授業改革に取り組み。	学びの質の転換に向 け、新しい授業観の習 得を教員に促す。

<一 般>

敬称略

項 目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
情報リテラ シー教育の 推進	都 S	佐藤 美樹	教育総合 センター長	生成AI技術の進展により偽の情 報・画像等が容易に作成される現 状に鑑み、情報の真偽を判断でき る力を培う必要がある。学校現場 ではどう養うのか。	情報活用能力の育成 や情報リテラシー教育 を更に推進する。
不登校特例 校分教室の 開設の経緯	自 民	坂口 賢一	教育総合 センター長	区内の不登校児童生徒数は約 1500名にも上り、今なお増加傾向に ある。区は2022年に不登校特例校 分教室を開設したが、どのような目 的意識のもと開設に至ったのか。	居場所が必要な子ども の個別最適な教育機 会の確保が目的だ。

< 一般 >

敬称略

項 目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
学校改築時の活動場所の確保	自 民	坂口 賢一	教育政策・生涯学習部長	学校改築時に仮設校舎を校庭に設置する際は、子どもたちが遊びや運動を十分にできる場所の確保が不可欠だ。近隣校の校庭を共同で利用するなど対策を講じよ。	学校敷地外で運動ができる場所の確保などの検討を進める。
中学受験に潜む教育虐待への対策	都 S	そのべ せいや	学校教育部長	過熱する中学受験の裏で親に過度な勉強を強いられ追い詰められる子どもも存在する。こうした悩みを安心して相談できる環境を築き、子どもに周知徹底せよ。	せたホッとなどと連携して悩みを相談しやすいよう周知する。
住民意見を反映した図書館運営を	共 産	中里 光夫	教育政策・生涯学習部長	図書館運営での民間活用の問題点が指摘される中で、梅丘図書館への指定管理者制度導入は拙速だ。住民意見を基に策定された改築基本構想を運営の軸に据えよ。	地域住民の想いが詰まった改築基本構想をしっかりと反映する。
インクルーシブ教育の推進	立憲れ	桜井 純子	教育総合センター長	全ての子どもが当たり前地域に学校の通える環境を築くべきだ。障害のある子どもの就学先を把握しインクルーシブ教育の推進状況を測る指標として活用せよ。	就学先を分析し、推進状況の評価などができるよう精査する。
他者への理解を深める教育の推進	自 民	河野 俊弘	教育総合センター長	池之上小で青年会議所が行った授業は児童がVR技術で発達障害の症状を疑似体験し、他者への思いやりを学ぶ、すばらしい内容だった。区の教育に取り入れよ。	他者理解を深め主体的に学ぶ内容を学校で取り入れていく。
近隣自治体との図書館の相互利用	維無行	桃野 芳文	教育政策・生涯学習部長	区の図書館は区外の誰もが利用できる一方、近隣の調布市は住所による制限があり一部の世田谷区民しか利用できない。調布市に幅広い相互利用を働きかけよ。	世田谷区民利用者の拡大に向けて調布市への働きかけを行う。
教育費の無償化の推進	維無行	ひえしま 進	学校教育部長	子育て世帯の負担軽減に向けて教育費の無償化を推進すべきだ。都が6年度より学校給食費の補助を実施するこの機に、浮いた予算で学用品費を無償化せよ。	社会で子育てを支援する視点や財政負担を踏まえ検討する。
特異な才能を伸ばす教育の推進	維無行	若林 りさ	教育総合センター長	区長は子どもの特異な才能を伸ばす教育を行う方針を発表したが、一向に進展がない。やる気がないのであれば、区民への誤解を解くため区長の口から訂正せよ。	訂正した内容については既に区ホームページに掲載した。